

中学受験 裏技勉強法

《執筆》

中学受験 現役塾講師イマイ

オフィシャルブログ URL (是非ご覧下さい)

<http://ameblo.jp/jyuken-com>

☆中学受験ブログランキング参加中☆

1日1クリック応援お願いします。

Copyright (c) Imai All Rights reserved.

【目次】

第1章 目標設定と計画作り

120%失敗しない計画の立て方とは・・・

第2章 国語偏差値アップの極意

どう克服するのか！禁断の方法を伝授。
中学受験国語に必要な●●力。

第3章 超絶！社会の極意

社会の画期的な勉強法（地理・歴史・公民対応）。

第4章 正しい塾の選び方

塾選びで重要なポイント
集団塾・個別塾のデメリット

次のページから本編となります。

是非、熟読くださいませ。

なお、中学受験ブログは随時更新中です。

最新の受験情報や塾別戦略など扱っておりますので

是非お読み下さい。

<http://ameblo.jp/jyuken-com>

第1章 目標設定と計画作り

勉強でもなんでも、やる気になるためには何か目標が必要です。

小学生のお子さんが目指すものが無いのに頑張れるというのは絶対にありえません。親に言われるから仕方なく頑張っているという人もいると思うが、それだと本気度が低い分十分な成果を得にくいはずです。

第2章では、点数アップに欠かせない、目標設定と計画作りに触れてみます。

目標を設定する際にまず大切なことは、その目標が、

『必ず達成したいと思える目標であること』です。

なんとなく、こうなれたらいいなあ・・・などという気持ちの目標は目標とは言えないであろう。それを目標という人もいるかもしれないが、そういった目標はほとんど実行不可能なのが通例です。

本当の目標とは、本気でそれにむかって自分自身が努力しようと思えるものでなければなりません。本気で達成したいと思うのであれば、それに向かって努力をすることもできるでしょう。そしてその先にはきっとすばらしいゴールが待っています。なんとなく自分のお子さんが、最近モチベーションが下がっていると感じている保護者の皆さんは、そういった目標をお子さんが失いかけている可能性があります。

お子さんが、現在本当に達成したいと思える目標を持っていますか？もういちど見直してみてください。

第一に目標を持つこと。そこに意味があります。

それから『期限を正確に決めておくこと。』

これも非常に大事な要素です。

いつまでにその目標を達成したいのかをはっきりしておかなければなりません。

中学受験で志望校に合格というものであれば、期限は非常に明確ですが、例えば、漢字の問題集を一冊やりきる！歴史の重要語句を全て暗記する！といった目標を立てている人の中には『いつまでに？』という期限が抜けていることが多いのです。

そこが明確でないと、一日あたり、どれくらいのペースで目標に向かうべきなのか分からなくなってしまうからです。

これまで多くの生徒が立てた、いろんな目標を見てきましたが、そのうちの80%の生徒は目標設定の仕方を間違えていました。

計画は立て方を間違えると、ただの紙切れになってしまいます。逆に正しい計画設定ができるようになれば、その目標を達成できる確率も究極に高まります。現に、うちの生徒たちもそうやって合格を勝ち取ってきました。

何回もいうが、目標を目標のままで終わらせないことが重要なのです。ちなみに、せっかく立てた目標ですから、当然達成したいはずです。

では、目標を確実に達成へ導くため何をすればいいのでしょうか？
ポイントは、達成度を確認しながら進めることです。正しく目標へ向かえているのかどうかを途中で確かめるわけです。確認してみて思わぬ方向に進んでいるようであれば軌道修正をしながら進めます。その確認をせず、ただ漠然と目標を掲げたのならば、いつの間にか、そんな目標があったことすら忘れてしまうものです。自分でも気づかない間に、目標を放棄してしまっているということになります。目標の達成度を確認しながら進むということは、こういった途中放棄にならないで済むためにも必要なことなのです。目標を忘れかけていたとき、それを再度確認することで、目標達成のためのモチベーションも再びアップさせることが可能となります。

さて、その確認の仕方についてなのですが、元々目標設定をしたときに、同時にある「仕込み」をしておくことで楽に達成度を確認ができます。

その仕込みとは、『**短期目標の設定**』です。

今一番達成したい目標にたどり着くための、途中地点を定めておくことがコツなのです。たとえば1年後にこうなりたいということがあれば、2週間後や1ヶ月後の段階ではどうなっていないといけないうことを短期目標に設定しておく

こと。

こうすることで、短い期間で目標へまっすぐ向かえているか確認ができ、修正も利きやすくなるのです。

当然、大きな目標を持つこと（中学入試に合格する）は大事でしょう。でもその達成を確実なものにするために短期目標も忘れず設定しておくことのほうがはるかに重要なのです。

第2章 国語偏差値アップの極意

中学受験の苦手科目が国語の場合の対策法は以下の通りです。

国語が苦手な生徒の場合、まず、ほとんどの生徒がテストを受けても、

「なぜ、自分の答えが×なのか」

「どこが足りなくて間違えたのか」

ハッキリとしたことが分からないまま次のテストをまた受けています。これではいつまでたっても同じことの繰り返しとなります。算数の場合、「解き方がハッキリしている」し「間違えるパターンが決まっている」ので、塾でも教えやすいですし、生徒も聞きやすいのです。

しかし、国語の場合、生徒が曖昧に解答している上に、それぞれ間違えた原因が違うものですから、解説を聞いても「自分がなぜ、間違えたのか」を理解しにくいのです。また、算数のように苦手なパターンの問題を繰り返し練習することも、自力では難しいはずですが。

国語が苦手な場合

◇文中に知らない言葉が多く流れが掴めない

◇本文を読むのが遅い

◇内容は何となく理解するが解答の根拠を見つけられない

などの原因があるので、生徒の現状から原因を分析し、具体的な練習方法を決めることです。

具体的には、

- ◆傍線の前後からキーセンテンスを抜き出す
- ◆選択肢の根拠を探す
- ◆消去法でより良い選択肢を選ぶという方法
- ◆文中の関係個所に線をひく
- ◆選択肢を見ないで自分なりの解答をつくる
- ◆選択肢から近いものを選ぶ

などの手法を徹底して解くテクニックを訓練し、確実に点数が取れる方法を教えることももちろん重要です。

ただ、国語の場合、「苦手な原因」も「間違えるパターン」も「具体的な対策」もそれぞれ違うため、個別に対応することが必要となります。

それができれば、他の科目と比べ覚えることが少ないので最も短期間に伸ばすことができるし、また、一度得意科目になれば、苦手になることはないので有効な方法です。

またいざとなったら「指示語内容、適語選択、空欄補充、文章挿入、表現選択、並べ替え、傍線解釈、内容説明」の8パターンの答え方だけ学ぶ方法もあります。

ただ、これはあくまでも論理力がついてからの話であり、最も効果的なのは『中学受験用 論理エンジン』をしっかりとこなし、**論理力をつけることが最優先**です。

参考サイト

【中学受験用 論理エンジン】

公式ホームページ

<http://www.ronrienjin.com/>

是非、こちらで勉強してライバルと差をつけて下さい。

第3章 超絶！社会の極意

【社会の極意】

社会に関して、これは私がどうこう述べる必要はありません。
実は、もう付き合いの長い知り合いの先生が今までの受験社会の概念を変えるような勉強法を作り上げています。

もはや、あちこちの掲示板・ブログなどの口コミでかなり有名であります。まだ知らない場合は是非ホームページに行ってみると良いでしょう。おそらく首都圏の受験生ならばこっそり使っている人が数多くいるはずです。

中学受験社会のカリスマ講師 野村先生の作成したテキスト

『暗記の極意777』 公式ホームページ

<http://www.ronrienjin.com/manager/ankinogokui>

『記述の戦場』 公式ホームページ

<http://www.ronrienjin.com/manager/kijyutsu>

第4章 正しい塾の選び方

これから塾選びのポイントをお教えするので参考にして下さい。

重要なポイントは

「**自分の子供に合った指導をしてくれるか?**」です。

有名な塾であるというブランドと、「**自分の子供に合った指導をしてくれる**」ということに何の関係があるのでしょうか？

何の関係もないはずです。

その塾の体験授業を実際に受けてみて

「自分のレベルに合っている」

「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいだけです。

チラシがカラーで写真が多いとか、合格実績が素晴らしいから期待できるというのはありえません。

チラシの構成が立派なのは外注された会社の制作者が上手なだけです。また、合格実績に関しても、さらに気をつけなければいけません。

塾のチラシで、以下のA・B あったらどちらが良い塾なのでしょう。

A「御三家 合格 100名」の塾

B「御三家 合格 20名」の塾

実は、これだけでは判断材料が少ないです。

この情報が欲しいわけです。

A「御三家 合格 100名」 (受験生 400名) …… 合格率 25%

B「御三家 合格 20名」 (受験生 30名) …… 合格率 66%

また、校舎が多くあり、大規模に展開している塾ほど要注意です。

なにか「物」を販売しているお店がたくさんあるのなら「経営的に大丈夫」なことがあるかもしれません。「物」ならば「同じ品質」のものを大量に生産できるからです。

どこのお店で買っても「物」は一緒です。「授業」は「物」ではありません。人が指導しているのなら、いい先生・悪い先生がいるのは当然です。

けれども、自分のお子さんを担当する講師がいいか、悪い講師を最初に見抜くことが

できますか？

是非、体験授業を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

担当講師の当たり外れは教室長(教務主任・室長)よりもさらに指導品質に差があります。それこそさまざまです。

こんな説明を聞くこともありますよね。

「たくさんの講師がいます。お子さんに合った講師が指導しますから大丈夫ですよ」

なぜ、大丈夫なのでしょう？

そもそもお子さんに合った先生とはどういう基準なのでしょう？

どうして自分のお子さんにあった講師を知り合っ間もない教室長が選び出せるのでしょうか？ 有り得ません。そんな素晴らしい観察眼のある人材はそういないと思います。

それに何よりもまず、どの塾にも実力のある先生が非常に少ないです。

1つの塾に10人の先生がいれば**2人**くらいしかトップレベルの講師はいないと思います。あとの6人は普通レベル。残り2人は残念なレベルです。

こういうことは塾に限らずどこの会社でも同じことです。

2：8の法則とか2：6：2の法則というものです。ではトップレベルの講師に生徒みんなが指導してもらえるのでしょうか？ トップレベルの講師にこだわったら、残りの8人は必要ないのでしょうか？

実は、必ずしも指導力がトップレベルだから相性がいいというわけではないのです。体験授業を実際に受けてみて、「自分のレベルに合っている」「自分のレベルに合わせてくれる」と思ったら入塾すればいいのです。

個別指導のデメリット

いろいろなスタイルの個別指導がありますが、今回は「先生が1人に生徒が2人」という定番の個別指導の欠点を解説しましょう。

【デメリット 1 ～理解力・演習力不足～】

わからなくなったらすぐに横に座っている先生に質問するために、自力で考える力がいつまでたってもつかない。当然「理解力」「演習力」がつきにくいさらには、1コマ90分の時間では十分な練習問題を解くことはできずに質問と解答の写し書きで終わることが多くなりやすい。

なぜ、こういったことになるのかというと、結局2人を90分で指導するということは1人当たりの指導時間は単純に考えると90分の半分の45分ということになる。しかも、実際は45分ずっと教えてもらえるはずもなく、先生としばしの雑談も指導時間に含まれていると考えられる。

できる問題まで解いている時間もあるので、「教えてもらうためだけ」に来ている子供からすると「できる問題をする」時間はまったくの無駄となるからです。中学受験の場合、苦手な科目対策で週一回個別に通うのは、あまりお勧めはできません。

【デメリット 2 ～指導時間不足～】

講師1人分の指導時間の人件費を2人の生徒の月謝でカバーするシステムが主な原因です。講師をたくさん確保しなければならない塾側は先生の求人募集の宣伝費が常にかかります。また、未熟な学生講師の研修を日々実行するのにいろいろと費用もかかってきます。

【デメリット 3 ～科目の偏り～】

塾の方は、1教科でいくらかという月謝設定により、4教科の指導を仮に頼むと合計でびっくりするような高い月謝を取ってきます。塾側も全教科指導できますよと言いながらも実際は算数中心の講師をそろえています。

理由は1教科だけ指導してもらいたいというときは「算数」「国語」ということが多いからである。確保している講師の数の問題もあり、4教科の指導を全面的には打ち出さないようにしているためなのです。また、基本的にベテランの講師というよりも学生講師が多いためにどうしても未熟な指導をしがちになります。

それは、「おじさん・おばさん講師」よりも「若いお兄さん・お姉さん講師」のほうが子供に年齢が近くて人気がある。塾としては指導経験が浅くても若い学生講師を多く確保することが生徒募集にいい影響を与えることを知っているためなのです。

最後に、塾があればどんどん体験入塾をして下さい。

皆さん、「おいしいお店」なら探すでしょう？

なぜ、塾をひとつおとり体験しないままどこかの塾に入るのですか？

口コミで入塾を決定するのですか？

それよりも、実際に塾の授業を体験してみるのほうが間違いありませんよ。

無料体験授業をしている塾は多いはずですよ。

是非、まわりの塾を全部無料体験してみてください。

自分のお子さんのための、塾のランク付けをしてみてください。面倒くさがらずにしてみてください。

大事なことは、体験授業を実際に受けてみて、「**自分のレベルに合っている**」「**自分のレベルに合わせてくれる**」と思ったら入塾すればいいのです。

無料レポート版はここまでとなります。

最後まで読んでいただきありがとうございます。

最後に一言。

中学受験は一生に一度の晴れ舞台です。

最後まで悔いのないように頑張りましょう。

皆様の合格を祈念しております。

是非、この続きは

中学受験現役塾講師イマイオフィシャルブログ URL

<http://ameblo.jp/jyuken-com>

☆ 中学受験ブログランキング参加中

☆ 1日1クリック応援お願いします。

Copyright (c) Imai All Rights reserved.